



入学式を終えて



1年生担当教員 奥田 真由美

令和5年4月7日、暖かな春の訪れとともに34名の新入生を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、看護学校での行事は中止もしくは縮小されてきましたが、昨年からは参加者は限られているものの徐々に通常に戻ってきました。今年は3年ぶりに在校生も全員式典に参加することができ、保護者には2名まで出席していただき、ほぼ新型コロナウイルスが流行する前の式典を挙行することができました。新入生の晴れ姿を保護者の皆様、病院職員の方々に見守っていただき、安堵しています。また、在校生は新入生の姿に先輩としての自覚を抱くこともできたのではないかと思います。

新入生は式典中マスクを外し、やや緊張した面持ちでした。呼名時の返事は、これから始まる看護学生としての新生活に期待と不安を抱いているようにも聞こえました。学校長は「患者さんに寄り添えるよう、豊かな人間性と深い知識を持つ看護師となってほしい」と式辞を述べられました。新入生は様々な思いを抱き、看護学校に入学されたと思います。これからの学校生活において、時には立ち止まることもあるかもしれませんが、その時は、入学式で新たに決意を思い出し、仲間と共に支え合い、乗り越えてもらいたいです。私たち教職員は、これから授業や実習などを通して、新入生が知識や技術を高め、看護への思いを育み、3年後には患者さんに寄り添える優しい看護師として看護学校を巣立つことができるよう、精一杯支援をしていきたいと思っています。

